

学校名 西之表市立上西小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	受賞候補校では、継続的・計画的な見通しをもって、地域の神社環境の美化清掃を通して地域美化の心や「郷土愛」を育てること、清掃活動で出る枯れ葉や残滓を地域や学校の緑化・農園活動に活用する堆肥や腐葉土づくり再利用しているところが特色である。
2 受賞候補校等の活動状況等	学校農園では、種子島特産の安納芋の栽培にも力を入れており、特に今年から、そのための土壌づくりに腐葉土や堆肥を有効活用している。
(1) 活動の動機・頻度	
① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>「お世話になっている地域に何か貢献できることはないか」という子供たちの発想の下、子ども会を中心に、保護者や地域有志・教職員有志で伊勢神社清掃を行っている。</p> <p>継続的に行っている活動で、少なくとも平成 30 年から活動（月日不明）しており、子ども会の恒例行事になっている。月に 1 回、第 3 日曜日の早朝 7 時から実施している。</p> <p>当初は、愛郷精神「郷土愛」を醸成する狙いが主であったが、大量に出る枯れ葉・残滓の活用、神社周辺の植樹活動等の緑化にも広がりが出てきた。</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>伊勢神社の清掃活動</p> <p>※ 児童は、「伊勢神社掃除」と呼んで定例化している。</p>
③ 月間又は年間活動回数	<p>年末年始の大掃除時期、神社の例大祭時前など、月 1 回、年合計 10 回の活動を計画的に実施している。</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	伊勢神社敷地及び区長事務所内
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	40 人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	1 時間程度（季節や状況による）
⑦ 収集物の処理	枯れ葉は、学校の花壇や農園の肥料・腐葉土に再利用している。枯れ木等は、地域の方に引き取りをお願いし、焚き物として活用されている。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	活動全体、子ども会が中心となり親子で参加しているが、地域・教職員有志も協力している。晴天時は伊勢神社の石段や入り口の清掃，雨天時は区長事務所の窓ふき等の清掃を行っている。枯れ葉や枯れ木の分別・再利用を通して、先人の SDGs の知恵や考え方を学ぶ機会となっている。
(3) 地域への貢献度	地域に親しまれている神社で、清掃活動をすることで、地域拠点の環境美化や植樹活動を通じての環境づくりの貢献となっている。
① 地域の環境美化への貢献	また、地域の方々が昔から行っている手作りの「堆肥・腐葉土」づくりに触れることで、SDGs の考え方に基づく環境緑化との関わりも学ぶ機会を得ながら、地域の方々の人材活用や有用意識の高揚の機会にもなっている。
② 地域住民との協力活動	春・夏・秋の伊勢神社大祭が近づくと、児童は石段の清掃，保護者・地域は神社周りの草払いや大祭の準備を行っており、子ども会の年間行事計画と地域の活動が連動・連携するよう努めている。 年末・年始の地域の準備時にも朝の清掃を計画実施し、地域の環境美化・整備に貢献している。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	校区・地域のために児童が清掃活動を行っていることに感謝をしている。この取組の継続を、地域の方々も期待が大きく、子ども会の他の活動への協力や支援，学校緑化や諸行事・活動への参加・協力について、肯定的・積極的な姿につながっている。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>自然に親しみ、地域や幅広い環境に視野を広げ、行動できる児童の育成を目指す当該校の環境教育と関連付けて、家庭や地域との連携の中の実践活動の一環としている。</p> <p>SDGs の考え方にもつなげ、枯れ葉や枯れ木を分別・再利用を通して環境に負荷をかけない、持続可能な環境づくりについて考える機会となっている。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>神社の石段などがきれいになることに喜びを感じ、友達や保護者・地域の方々と協力して、積極的に取り組むようになった。</p> <p>自然の営み、植物が出す残滓（枯れ葉・枯れ枝等）の有効な活用（再利用・再活用）の機会に触れ、先人の堆肥づくり・腐葉土づくりに強い関心を抱くようになった。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>○ 花の苗植え、土づくり（全校）</p> <p>○ 農業体験学習（安納芋，落花生：3・4年生）</p> <p>○ 美化活動 （学校行事：校内，伊勢神社入り口の清掃：全校）</p> <p>○ J R C 活動による校内清掃活動</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか （受賞年月日と表彰機関名）	受賞歴なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<p>校内 毎朝の清掃活動：登校後，始業前の時間 緑化活動：生活科（1・2年）， 総合的な学習の時間（3～6年） 農業体験活動・総合的な学習の時間（3・4年）</p> <p>校外 毎月第3日曜日の午前7時（子ども会が中心）</p>
3 その他特記事項	<p>総合的な学習の時間における農業体験活動「落花生づくり」では，栽培した落花生を材料とした種子島伝統の豆菓子づくりに取り組んでいる。豆菓子作りにおいては，校区内の就労継続支援B型事務所「きぼう館」の通所者から指導を受けている。</p> <p>環境美化で得た堆肥・腐葉土を活用した農業体験活動が地域とのつながりに広がりつつある。</p>

伊勢神社清掃活動

西之表市立上西小学校

1 子ども会による伊勢神社清掃

(1) 伊勢神社清掃（晴天時）

本校区には、地域に親しまれ校区の象徴となっている伊勢神社が鎮座している。「お世話になっている地域に何か貢献できることはないか」という子供たちの発想のもと、子ども会を中心に、保護者や地域有志・教職員有志で伊勢神社清掃を行っている。

これは、継続的に行っている活動で少なくとも平成 30 年から活動（月日不明）しており、子ども会の恒例行事になっている。月に 1 回、第 3 日曜日の早朝 7 時から実施している。

当初は、愛郷精神「郷土愛」を醸成する狙いが主であったが、大量に出る枯れ葉・残渣の活用、神社周辺の植樹活動等の緑化にも広がりが出てきた。



(2) 区長事務所清掃（雨天時）

雨天時は、区長事務所の室内清掃を行っている。



2 学校の環境教育との関連

自然に親しみ、地域や幅広い環境に視野を広げ、行動できる児童の育成を目指す本校の環境教育と関連付け、家庭や地域との連携の中の実践活動の一環としている。

自然の営みの中で、環境を美化することと美化することでSDGSの考え方につながる再利用や再活用できる機会を得られることに感謝している。

具体的には、集めた落ち葉は腐葉土づくりに使用する等、学校の緑化・農園活動に活用している。植物が出す残渣（枯れ葉・枯れ枝等）の有効な活用（再利用・再活用）の機会に触れ、昔の方々の堆肥づくり・腐葉土づくり等を学ぶ機会となっている。





3 学校だよりによる情報発信

学校だよりで、美化活動や緑化活動の取組を保護者や地域に伝え、本校の環境教育に対する理解・協力環境の醸成を深めている。

たくさん集めたよ！

冬・春用の土づくりに向けて、全校で伊勢神社の境内の落ち葉を集めました。樹木の根元付近の落ち葉を集めていると、虫の大群を見つけて大騒ぎになりました。

子供たちは、時間いっぱい働き、たくさんの落ち葉を袋に入れて学校に持ち帰ることができました。この後、米ぬか等を混ぜ合わせて腐葉土を作ります。



4 環境教育コーナーの設置

校内に環境教育コーナーを設置し、活動の写真や児童の振り返り等を掲示している。年間を通した取組を掲示することで、児童の意欲や関心が持続するとともに本校の環境教育について来校者の理解を得ている。



5 児童・保護者・地域の方の感想

(児童)

- ・ みんなで神社をきれいに掃除すると、とてもすっきりします。これからも、神社をきれいにしていきたいです。
- ・ 集めた落ち葉が堆肥になっていくので、びっくりしました。そして、その堆肥を使って学校の花や野菜が育ったのでうれしかったです。
- ・ 神社もきれいになって、落ち葉を再利用することができたので、いいことばかりです。

(保護者)

- ・ 校区の人たちから上西小の児童は大変お世話になり、支えていただいています。とても感謝しています。恩返しのような気持ちで、校区のために児童と一緒にできる活動として伊勢神社清掃に取り組んでいます。
- ・ 児童も感謝の気持ちがあるのか、文句ひとつ言わずに、きれいにしようという気持ちでやっています。
- ・ みんなの大切な場所をきれいにするこの活動がずっと続くといいです。

(地域の方)

- ・ 伊勢神社は校区のみんなが大切にしている場所。児童と一緒にきれいにすることができてうれしい。
- ・ これからもふるさとを大事にする心を育んでほしい。

6 今後の展望

これまでの本校の取組を基盤に、さらに持続可能な取組になるよう工夫改善を図る。

- (1) 地域の方と連携し、上西校区ならではの腐葉土・堆肥づくりに取り組む。
- (2) 腐葉土を活用して栽培した花を地域に届け、地域の緑化環境づくりにつなげる。
- (3) この取組を整理し、教育活動への位置づけ・関連付けを指導計画に明示する。